

音楽語法の実際

16世紀～17世紀の音楽理論とその実践への応用



16世紀から17世紀の音楽理論・演奏論を多角的に学びながら実践に応用する試みです。古楽レパートリーの本物の魅力を知り表現するには、彼らが残した音楽理論書などを通して、現代とは異なる発想や視点を多角的に学ぶ必要があります。この講座で学ぶ多様な音楽理論科目は、ルネサンス・バロック期のあらゆる音楽家が修道院附属音楽学校などで学んだもので、現在でも欧米の古楽科等では必須科目となっています。

音楽教育や演奏の現場の歴史を通して育まれたこれら作曲や即興演奏のための理論は豊かな演奏表現を妨げるところか、古くて新しい演奏解釈へのアイディアにも満ち溢れています。ただし、これらの音楽理論は実践に応用してはじめてその価値が見え、実践を通してその意味もわかります。また、旋法・対位法・即興といった別々の角度からのアプローチし統合する中でより大きな果実に育つのです。

各講師が得意分野を担当し、多角的な視点から取り組みます。

旋法: ソルミゼーションと教会旋法

辻康介

対位法: 古典対位法とプロポルツィオ

福島康晴

即興: ポリフォニー即興、ディミニューション、通奏低音

曾根田駿

*座学と演奏を半々に配分したイメージで講座が進みます。

- 1回2時間のクラスを合計18コマ(各講師6コマ)行い、受講最終日に発表会を行います。
- 取り扱う曲は受講生の専門、演奏可能な楽器や声種により選び、年間を通し講座全体で取り組みます。
- 本年度修了後、希望者は次のレベルの2年次クラスを継続することが出来ます。

【対象】アマチュア音楽家、音大生または音大卒業生、プロの演奏家、音楽教育に関わる人など。
何らかの楽器が演奏できるか、合唱において各パート内でのユニゾンが無理なく歌えるレベルが求められます。

【場所】聖グレゴリオの家 ハッチハウス、聖堂、聖堂ロビー など

【受講料】146,300円(税込み)(全18回+発表会) 維持費5,500円(税込み) *分割希望の場合応相談

【日程】全18回 火曜日 16:00~18:00

①10月29日 ②11月19日 ③11月26日 ④12月10日 ⑤12月17日
2025年 ⑥1月7日 ⑦1月21日 ⑧1月28日 ⑨2月18日 ⑩2月25日
⑪3月11日 ⑫3月18日 ⑬4月8日 ⑭4月22日 ⑮5月13日
⑯5月20日 ⑰6月3日 ⑱6月10日 6月24日(発表会)

*講師の担当日や日程をやむを得ず変更する可能性があります

【申込みについて】

申込み締切:2024年10月15日(火)

申込書に必要事項をご記入の上郵送、または申込書記載の内容をメールにて
下記宛先までお送りください。申込み締切り後、受講案内をお送りいたします。

※受講者が4名未満の場合、開講いたしません。

聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所

電話: 042-474-8915 電話受付 9:00~17:00

FAX: 042-474-8832 (日祝祭日お休み)

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台 2-7-12

<https://st-gregorio.or.jp>



【講師 プロフィール】

辻康介

国立音楽大学楽理科卒、同音楽研究所研修科修了、ミラノ市音楽院バロック声楽科 2 年専門課程修了。声楽を牧野正人、C.カヴィーナ、R.バルコーニらに、古楽演奏理論を D.フラテッリ、E.ファディーニ、指揮法基礎を杉山洋一に師事。6音階名唱の指導者として、日本コダーイ協会、愛知県立芸術大学ソルフェージュ研究会、日本音楽学会、日本合唱連盟、Chorus Company などに招かれた。声楽家としてはモンテヴェルディ作曲「オルフェオ」のオルフェオ役、「星座へ」(ふじのくににせかい演劇祭 2022)、「池の畔の遊歩音楽会」(鳥越けい子)等の他、自身のプロデュースで「F.ラージ全曲演奏会」や CD+book「おとなのための俊太郎」。聖グレゴリオの家、フォンス・フローリス古楽院講師。聖心女子大学グリークラブ常任指揮者。日本コダーイ協会会員。

福島康晴

東京音楽大学大学院作曲科修了。2006 年よりミラノ市立音楽院古楽科にてルネッサンス・ポリフォニーをD.フラテッリ氏の下で学ぶ。2009 年 M.グランチャーニ(1605-69)研究の論文及びコンサートをもって最高点・褒賞付きで修了。また、モンテヴェルディ周辺の音楽理論・演奏慣習をR.ジーニに師事する。同時に指揮科にも在籍し、E.ポマーリコ、杉山洋一の各氏に師事。2012 年に帰国し、イタリア・バロック音楽を中心に演奏する古楽アンサンブル『エクス・ノーヴォ』を立ち上げ、主宰及び指揮者として活動。また、後期ルネッサンスから初期バロックにかけての音楽理論に精通し、当時の理論書からひもとく音楽理論セミナーを多数実施。洗足学園音楽大学非常勤講師、フォンス・フローリス古楽院、日本合唱指揮者協会コーラスアカデミー講師、日本イタリア古楽協会会長。

曾根田駿

愛媛県出身。東京藝術大学音楽学部器楽科チェンバロ専攻卒業。2015 年より渡仏しリヨン国立高等音楽院のチェンバロ、古楽ハープ専攻で演奏家ディプロマを取得。2020 年にチェンバロ専攻修士課程(通奏低音/シェフ・ド・シャン Chef de chant)を修了し後完全帰国した。中世音楽理論及び即興を R.ピカゾ氏、ルネサンス、バロック音楽理論及び即興を B.ジャンン氏、D.ベルナー氏に師事。ピアノを富永啓子氏、チェンバロを石川陽子、大塚直哉、西山まりえ、Y.レビシュタイナー、J.-M.エイム、D.ベルナー、A.-C.ヴィネイの各氏に師事。古楽ハープを西山まりえ、A.モイヨンの各氏に師事。現在は中島恵美とのデュオ、イ・フィラトリー・ディ・ムジカを中心に活動し、歴史的演奏法を扱うレッスンや講座も行うほか、2 種類の楽器の奏者として様々な奏者と共演している。

2024 年度 古楽科 音楽語法の実際 申込書

年 月 日

フリガナ			職業	
名前		男・女	携帯	
Email				音楽歴・希望・その他
住所				